



オービックシーガルズ通信

2018秋季シーズン

決勝トーナメント進出に向け奮闘中

習志野市西浜を拠点に活動する社会人アメリカンフットボールのクラブチーム「オービックシーガルズ」は、フェイスボウル（白木選手権）で7回の日本一を果たし、さらなる高みを目指しています。また地域の学校訪問などのホームタウン活動にも力を入れています。

8月26日（日）、第1カッターフィールド（秋津サッカー場）でのホームゲームで開幕した、オービックシーガルズの2018秋季シーズンは、レギュラーシーズンの第5節までを終え、3勝2敗



素早い集まりで、相手のランプレーをシャットダウン

の6位となっています。（10月8日時点）開幕戦は、BUILDSフットボールクラブを相手に、地元習志野の皆さんの声援を受け、90-3で快勝しましたが、続く第2節のノジマ相模原ライズ戦は、終盤までもつれこむ展開となり、残り3秒からの逆転負け（17-18）を喫してしまいました。

立て直しが急務となったオービックシーガルズですが、続く、第3節のLIXILディアーズ戦は、17-14と苦しみほしたものの、勝利を積み重ねることができました。第4節は大阪に遠征し、エレコム神戸ファイニーズと対戦し、関西在住・出身の選手が多いオービックシーガルズは、遠征とは思えないくらい

の満員のスタンドをバックに、開始試合を支配し、24-0で完封勝利を収めました。

第5節は、2014シーズン以降、幾度となくオービックシーガルズの前に立ちふさがってきた富士通フロンティアーズと対戦。試合開始直後、早々につかんだチャンスをタッチダウンにつなげ、14-0でリード。その後、逆転、再度逆転の、取つたり取られたりの試合展開となり、どっちが勝つてもおかしくない試合でしたが、残念ながら、あと一歩及ばず、28-31で敗戦となりました。

第6節までのレギュラーシーズンをを行い、上位8に入る決勝トーナメントが行われるXリーグ。ここまでに2敗してい

るオービックシーガルズですが、十分に決勝トーナメントに残れる可能性はあります。（本誌発行時には、決勝トーナメントが決定しています。詳しくは、チームHPをご覧ください）

決勝トーナメントは、負けから終わりの戦いになりますので、もうこの先に許される負けはありません。5年ぶりに習志野に日本一を持ち帰ると宣言したオービックシーガルズは、厳しい戦いになると思いますが、最後の最後まで戦い抜きたいと思えます。引き続き、たくさんのご声援をよろしくお願いします。



TE #85 ホールデン選手のご両親も来日して参戦



試合前の応援対決も本気の参戦



WR #86 前田選手は、富士通戦で大暴れ



DL #23 BJ選手は、相手を圧倒するプレーを連発



富士通戦で独走タッチダウンを披露したRB #29 今卓選手



DL #11 KJ選手は、年々凄みを増しています

チケット情報・学校訪問・イベント出演などのご相談は、
オービックシーガルズ運営事務局 | 脇田
TEL047-452-2224 (平日10時~17時)

オービックシーガルズ公式HP <http://www.seagulls.jp>